



週間情報



No.2803

発行日 平成28年1月19日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 電話 03(3234)1321

両会の動き

◆ 平成28年度記録誌「全国消防長会会報」・機関誌「ほのお」の実費購読のご案内

全国消防長会
一般財団法人全国消防協会

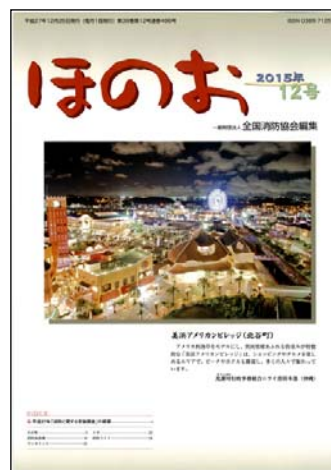
このことにつきましては、平成28年1月5日付け全消発第240号（以下「会報通知」という。）及び平成28年1月5日付け全消協第267号（以下「ほのお通知」という。）により、実費購読の申し込みについて下記のとおり受け付けておりますので、希望部数を消防本部（局）ごとにお取りまとめの上、電子メールにてお申し込みください。

記

- 1 購読料（1年間分・専用ファイル付）
「会報」 1,340円
「ほのお」 1,030円
- 2 購読期間
平成28年度1年間（平成28年4月～平成29年3月）
- 3 申し込み単位
消防本部（局）（個人からの直接申し込みは不可）
- 4 申し込み方法
「会報通知」及び「ほのお通知」の別添申込書（省略）に必要事項を入力の上、次のメールアドレスあてに送信してください。
「会報」 kaiho@fcaj.gr.jp
「ほのお」 honoo@ffaj-shobo.or.jp
- 5 申し込み締切日
「会報」及び「ほのお」 平成28年2月5日（金）
- 6 購読料支払い方法
申し込み後に送付する請求書及び振込用紙により、各消防本部（局）で取りまとめた購読料を、一括で振込みをお願いします。
- 7 その他
申し込み後の購読中止（購読料の返金）はできません。



【会報の見本（平成27年12月号）】



【ほのおの見本（2015年12号）】

行事

◆ 劇団四季「オペラ座の怪人」メインキャストを一日瑞穂消防署長に任命

名古屋市消防局（愛知）

名古屋市消防局では、平成27年11月15日（日）、劇団四季のミュージカル「オペラ座の怪人」名古屋公演の出演キャストに一日瑞穂消防署長を委嘱し、名古屋市立大学でのイベントに登場していただきました。

「秋の火災予防運動」最終日のこの日、学生や地域住民にも広く防災の意識を持ってもらおうと、大学祭のステージでのイベントを企画しました。ステージ上で一日瑞穂消防署長を委嘱されたラウル役・北澤裕輔さんとクリスティーヌ役・山本紗衣さんが、「オペラ座の怪人」の魅力を紹介したのち、特別に劇中ナンバーを披露していただきました。トークコーナーでは、北澤さんから「劇中では本物の火薬を使った演出があり、衣裳に引火する可能性もあるので細心の注意を払っています。」と、火災予防にちなんだ舞台の裏話も飛び出しました。



【劇中ナンバーの様子】



【トークコーナーの様子】

◆ 防災フェスタとよなか in 大阪大学2015を開催

豊中市消防局（大阪）

豊中市消防局では、平成27年11月28日（土）、国立大学法人大阪大学豊中キャンパス内グラウンドにおいて、「防災フェスタとよなか in 大阪大学2015」を開催しました。

フェスタでは、自主防災組織と消防局や危機管理課等の行政機関が連携し、自助・共助力の向上と地域防災活動の推進を図ることを目的に合同訓練を実施しました。

訓練は、自主防災組織により救出された多数の負傷者を救急隊へ引き継ぎ、さらに重症者をドクターヘリにより高度医療機関へ搬送する想定までを合同で実施しました。

合同訓練終了後には、消火器の取り扱い、煙体験、地震体験、救急救命などの各コーナーに加え、救出から搬送、胸骨圧迫、初期消火までを一連の流れを行う防災訓練競技会、消防音楽隊の防災コンサート、女性防火クラブによる炊き出しも行い、参加者約200人には地域防災の大切さを改めて感じていただくことができました。



【合同訓練の様子】

◆ 参加型防災イベントを開催

峡北広域行政事務組合消防本部（山梨）

峡北広域行政事務組合消防本部北杜消防署及び高根分署では、平成27年11月28日（土）、「第6回子ども環境フェスタ in 北杜」において、親子で楽しめる参加型防災イベントを開催しました。

このフェスタは、未就学児から小学生とその家族を対象として開かれたもので、煙体験ハウス・消火体験・キッズレスキュー・救急対処法・子ども防火衣着用・消防車両の体験乗車、展示など盛りだくさんのイベントとなりました。会場には、約1,000人の親子が訪れ、防災、救急業務への関心の高さが確認できました。

これからも、これらの普及啓発活動を積極的に行い市民の安全、安心の確保のため努めていきます。



【キッズレスキューの様子】



【応急対処法の様子】

◆ 救助隊が防災広報マラソンを実施

見附市消防本部（新潟）

見附市消防本部では、平成27年12月1日（火）、救助隊員が市内の幼稚園・保育園、商店街などを走りながら巡回する「防災広報マラソン」を実施しました。

火災・救急・救助事故等、災害の多発が懸念される冬期間を前に、市民が安全・安心に過ごせるよう毎年実施しているもので、今年で26回目を迎え当消防本部の伝統行事となっています。

16名の救助隊員は胸と背に「災害は助け合いの気持ちを忘れずに」というゼッケンを一文字ずつ付け、大きな声で号令を掛けながら、11.9キロを走り切りました。

多くの市民からは温かい声援と、立ち寄った幼稚園・保育園では、手造りの横断幕で救助隊員を迎え、園児からは「火の用心約束します」と心強い言葉をいただきました。



【防災広報マラソンの様子】



【園児との集合写真】

訓練・演習

◆ 夜間潜水訓練を実施

熊本市消防局（熊本）

熊本市消防局西消防署では、平成27年10月19日（月）、21日（水）及び31日（土）の3日間、熊本港において、夜間における潜水時の水中照明を活用した視界確保要領及び消防車両・消防艇を活用した照明活動要領を重点に、夜間潜水訓練を実施しました。

訓練を終えた隊員からは、「夜間という日頃の訓練とは違う環境の中で、活動障害や危険要因を再確認するとともに照明の重要さを痛感させられた。昼夜問わず発生する水難事故に対応するため、今回の潜水訓練は大変有意義なものになった。」等の声が上がりました。

今後も様々な想定の実施し、更なる救助技術の向上に努めていきます。



【夜間潜水訓練の様子】

◆ 救急隊員シミュレーション訓練を実施

稲敷広域消防本部（茨城）

稲敷広域消防本部では、平成27年11月18日（水）及び19日（木）、救急隊員研修の一環として各所属の救急隊が参加してシミュレーション訓練を実施しました。

想定をブラインドとしたため本番同様の対応が求められました。訓練後の検討会では、地域MCの事後検証医及び関連病院の救急担当看護師の方々に、医学的な観点からのアドバイスを頂きました。また、当消防本部の指導救命士も訓練の運営及びアドバイザーとして中心的役割を果たしました。隊員のレベルアップのため、今後も継続していく予定です。



【シミュレーション訓練の様子】



【訓練後の検討会の様子】

◆ 救助合同訓練を実施

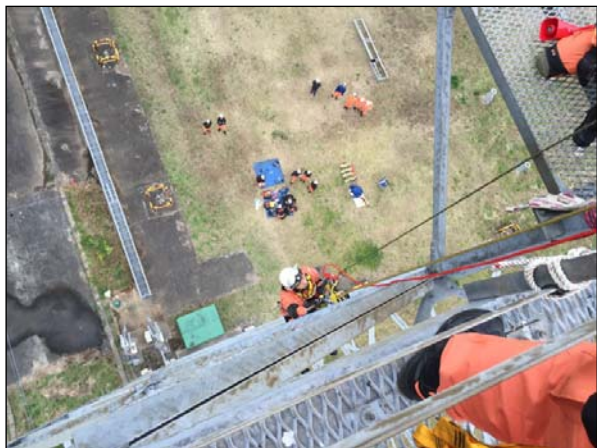
かすみがうら市消防本部（茨城）

かすみがうら市消防本部では、平成27年11月24日（火）及び25日（水）、市内事業所の協力のもと、高所鉄塔において、石岡市消防本部と救助合同訓練を実施しました。

多種多様な救助現場に対応するため、今回は高所救助の訓練として資機材の活用方法や注意点を学び、現場に即した安全管理・活動のスキル習得を目的に実施しました。

訓練想定は「30mの高所作業場で作業員が体調不良を訴え、動けなくなったため、救助隊による救出が必要」との想定で、日頃培った救助知識・技術を活用し救助訓練を実施しました。今回の訓練を通じて、30mという高所での救助訓練の実施は初めての隊員も多く、消防の基本でもある安全管理の重要性を再認識するとともに、隣接する石岡市消防本部との連携強化も図られました。

今後もこのような救助合同訓練を計画し、双方の救助隊員のスキルアップを図っていききたいと思います。



【高所救助訓練の様子】

◆ 救助合同訓練を実施

池田市消防本部（大阪）

池田市消防本部では、平成27年4月より指令センターの共同運用を開始した豊中市消防局と合同で、11月29日（日）から3日間、当市消防本部屋外訓練場において、救助技術の向上及び両市の連携強化を目的に、救助合同訓練を実施しました。

指令センター共同運用に伴い、日々の救助活動においてより一層の連携が予想されることから、ブラインド型訓練を行うなかで、お互いの救助技術、操法を確認するとともに共通認識を図りました。

今後も、近い将来起こるといわれている南海トラフ巨大地震などの広域大規模災害に備えて、各種団体との連携強化に努めて行きたいと思います。



【救助合同訓練の様子】

◆ 解体予定建築物を活用しての災害対応訓練を実施

守口市門真市消防組合消防本部（大阪）

守口市門真市消防組合消防本部では、平成27年11月30日（月）、12月7日（月）及び8日（火）の3日間、門真市内の解体予定建築物を活用し、災害対応訓練を実施しました。

この訓練では、実災害に近い環境下でのホース延長や屋内進入要領を確認し、実践に即した火災防ぎょ訓練を実施しました。また、南海トラフ地震等による大規模な震災時の救出活動を想定し、救助資機材を活用した倒壊建築物への進入や救出口として使用するブリーチング訓練も行い、安全で確実な内部進入・救出の流れを確認しました。

今後もあらゆる機会を活用し、火災防ぎょ訓練や震災に対応した実践的な訓練を積みながら、隊員の技術向上、消防力の強化に努め、管内の安全・安心した街づくりに取り組んでまいります。



【訓練の様子】

◆ 伊勢志摩サミットに向けたNBC災害対応訓練を実施

一宮市消防本部（愛知）

一宮市消防本部では、平成27年12月3日（木）、JR尾張一宮駅コンコース、尾張一宮駅前ビル（iビル）及び駅前ロータリー付近において、愛知県警察本部主催で化学テロを想定したNBC災害対応訓練を実施しました。

この訓練は、伊勢志摩サミットに向けた公共交通機関及び大規模集客施設でのテロによるNBC災害に対応するためのもので、関係機関が集結し大規模に実施されました。化学薬剤（サリン）の散布により多数の傷病者がいるとの想定で、一宮市総務部行政課危機管理室、一宮市立市民病院及び総合大雄会病院のDMAT、東海旅客鉄道株式会社、名古屋鉄道株式会社並びにアスティ一宮を含めた8機関202名が参加しました。

鉄道各社による通報及び避難誘導訓練、警察による化学薬剤の特定及び回収、警察、消防による要救助者検索、救出訓練及び除染訓練、DMATによるトリアージ訓練を連携して行いました。

今後も継続して他機関との合同訓練を重ね、更なる連携強化を図ります。



【救出及び化学薬剤回収訓練の様子】



【除染訓練の様子】

◆ 多数傷病者発生時の活動訓練を実施

東山梨行政事務組合東山梨消防本部（山梨）

東山梨行政事務組合東山梨消防本部では、平成27年12月7日（月）及び8日（火）、当消防本部訓練場において、山梨DMATと合同で、多数傷病者発生時の活動訓練を実施しました。

この訓練は、中型観光バスと普通ワゴン車の衝突事故により、多数傷病者（要救助者含む）事象が発生したとの想定で、消防機関と医療機関（山梨DMAT）が相互の活動内容を把握し、連携体制を確立することで、迅速・的確な活動を行い、救護・救助活動の技術向上を図りました。

当消防本部では、災害現場において状況に応じた有効な活動ができるよう、年間を通じて火災防ぎょ訓練や救急活動訓練など様々な訓練を実施し、職員一人一人のスキルアップを図っています。



【救急隊による一次トリアージの様子】



【応急現場救護所の様子】

研 修 等

◆ 消防法令違反是正事例研究会を開催

大分県消防長会違反是正推進連絡会（大分）

大分県消防長会違反是正推進連絡会では、平成27年11月27日（金）、大分市消防局において、総務省消防庁及び一般財団法人日本消防設備安全センターの支援を受けて「平成27年度大分県消防長会消防法令違反是正事例研究会」を開催しました。

当研究会は、大分県内消防本部（局）の違反是正に携わる職員の知識向上と県内予防業務の強化を図ることを目的として開催したもので、消防庁派遣アドバイザーとして、北九州市消防局の遠嶋浩克氏と熊本市消防局の大塚恭徳氏を招き、県内消防本部（局）の担当者38名が参加しました。

事務局で設定した2事例（「立入検査時における違反の検討と関係行政機関との連携について」及び「建物接続による建築基準法違反と消防用設備未設置に対する違反処理」）を、6グループに分かれて検討を行い、検討結果を発表した後に派遣アドバイザー2名から助言をいただきました。

各事例に対する各グループの検討においては活発に様々な意見が出され、非常に有意義な研究会となりました。



【グループ検討の様子】

◆「こころの健康出前講座」を開催

高幡消防組合消防本部では、平成27年12月10日（木）及び11日（金）、日本精神科看護技術協会、一陽病院の橋本憲明氏を講師として招き、「職場のメンタルヘルス」という題目で研修会を開催しました。

全国的にも増加傾向にあるメンタル不調者に対する予防対策及び不調者への職場コミュニケーション方法の習得を目的として開催しました。

職員からは「うつ病疾患に関する偏見が払拭され、職場コミュニケーションを積極的に図りたい。」などの声が聞かれ、有意義な研修会となりました。

高幡消防組合消防本部（高知）



【研修会の様子】

そ の 他

◆ 高規格救急自動車の受納式を開催

海津市消防本部（岐阜）

海津市消防本部では、平成27年11月17日（火）、一般社団法人日本損害保険協会から交通事故被害者救済支援の取り組みとして、高規格救急自動車を寄贈していただき、受納式を開催しました。

受納式では、一般社団法人日本損害保険協会 岐阜損保 坂田貴彦会長から海津市 松永清彦市長へ、目録とマスコットキーの贈呈が行われ、坂田会長は、「救急隊の日々の努力に感謝し、この車両を少しでも地域の安心・安全に役立てていただきたい。」とあいさつを述べられ、松永市長は、「この車を使用し、市民の生命・財産を守り、さらに救命活動に力を注いでいきたい。」とお礼を述べられました。

車両は、当市消防署平田分署の更新車両として配備され、市民への病院前救護にさらに大きく貢献するものになります。



【受納式の様子】

◆ 横浜消防オリジナル「はまっ子どうし The Water 超使命感ボトル」で女性の活躍を推進
横浜市消防局（神奈川）

横浜市消防局では、「消防女子！！」をコンセプトに、平成27年3月に横浜消防初となる「女性限定就職セミナー」を開催するなど、消防という仕事で女性も活躍できることを積極的に広報しています。その効果として、今年度の採用試験では女性の受験者、合格者ともに大幅に増加しました。

更なる「横浜消防のブランド価値向上」を目指し、この度、横浜市水道局とのコラボレーションにより、「はまっ子どうし The Water 超使命感ボトル」を製作しました。

このコラボレーションにより、消防局として今後一層の採用広報を行ってまいります。



【市長定例記者会見の様子】



【はまっ子どうし The Water 超使命感ボトル】

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

週間情報への投稿は企画課へ！

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail : weekly@fcaj.gr.jp